

はじめに

皆様方には平素から警察行政の各般にわたり、深いご理解とご協力を賜っておりますことを心より厚く御礼申し上げます。

このたび発行する「令和2年犯罪と交通のあらまし」は、静岡県内及び大仁警察署管内で発生した犯罪や交通事故の概要をとりまとめたものです。

第一部は、犯罪の発生状況です。

令和2年中に大仁警察署管内で発生した刑法犯罪の総数は286件で、前年と比較すると、98件の減少となりました。

自転車盗や車上ねらいなどの犯罪が減少した一方、空き巣等の屋内侵入窃盗事件が増加するなど、強盗事件などの凶悪犯罪に発展する可能性の高い犯罪が多く発生しています。

また、親族や警察官などを騙るオレオレ詐欺や市役所職員などを騙る還付金詐欺などの特殊詐欺の被害件数は7件、被害総額は約417万円で、前年と比較すると1件の増加、被害総額は約262万円の減少となっておりますが、県下はもとより、全国的に依然として高水準で推移しています。

また、特殊詐欺の入口である「サギ電話」の認知件数は138件で、数字的には前年と比べて減少しているものの、依然として高い水準にあります。

特殊詐欺被害抑止のため、迷惑・悪質電話防止機能を搭載した電話機の周知、常時留守番電話設定などの電話機対策のさらなる推進のほか、住民の皆様に対し、特殊詐欺に対する警戒意識の醸成に努めてまいります。

管内において検挙した主な事件は、

- 特殊詐欺（オレオレ詐欺・警察官騙り、親族騙り）事件の受け子の検挙
- 保護責任者遺棄致死事件被疑者の検挙
- 暴力団組員による恐喝未遂事件の検挙

などで、皆様の御協力により、多くの事件を検挙・解決することができました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を目前に控え、警察では、犯罪被害の抑止活動と併せ、さらなる取締りを推進してまいります。

また、住民の皆様による自主防犯活動と連携して、「社会の絆」を強化する地域安全対策、子供や女性等の犯罪被害弱者の安全確保に向けた活動等を官民一体となり強力に推進してまいります。

第二部は、当署管内における交通事故情勢です。

令和2年中に大仁警察署管内で発生した交通事故は、

- 人身事故件数 381件（前年対比 -54件）
- 死亡者数 0人（前年対比 -4人）
- 負傷者数 488人（前年対比 -75人）

と発生件数、死亡者数、負傷者数とも減少し、トリプル減を達成しました。特に、年間死者ゼロは、記録の残る昭和36年以降、初の快挙でありました。発生件数も現在の管轄区域（旧葦山町、旧伊豆長岡町が編入）となった平成18年以降で最少となりました。

事故類型別では

- 追突 140件（前年対比 -30件）（構成率36.7%）
- 出会い頭 104件（前年対比 +16件）（構成率27.3%）

で、追突と出会い頭で全人身事故の6割以上を占めており、特に昨年は全体の事故件数が減少するなか、信号無視等が原因となる出会い頭事故が増加しました。

また、高齢者（65歳以上）が関係する事故は、

- 高齢者事故（高齢者が当事者となった事故） 166件（43.6%）県平均35.9%
- 高齢ドライバー事故（高齢者が第1当事者となった事故） 109件（28.6%）県平均23.4%

と、高齢者が起因または被害に遭う事故が県下平均を上回る状況です。

大仁警察署では、交通指導取締りや交通安全教育を通じて、運転者には緊張感を持った運転とマナーアップを、歩行者には安全な横断と反射材等の着用による交通安全意識の高揚を図り、1件でも悲惨な交通事故を減らすべく取組みを推進してまいります。

皆様には、この「令和2年犯罪と交通のあらまし」を通じ、大仁警察署管内の犯罪発生状況や交通実態を知っていただき、防犯活動や交通事故防止対策を推進するための基礎資料として、活用いただければ幸いです。

令和3年4月

大仁警察署長